

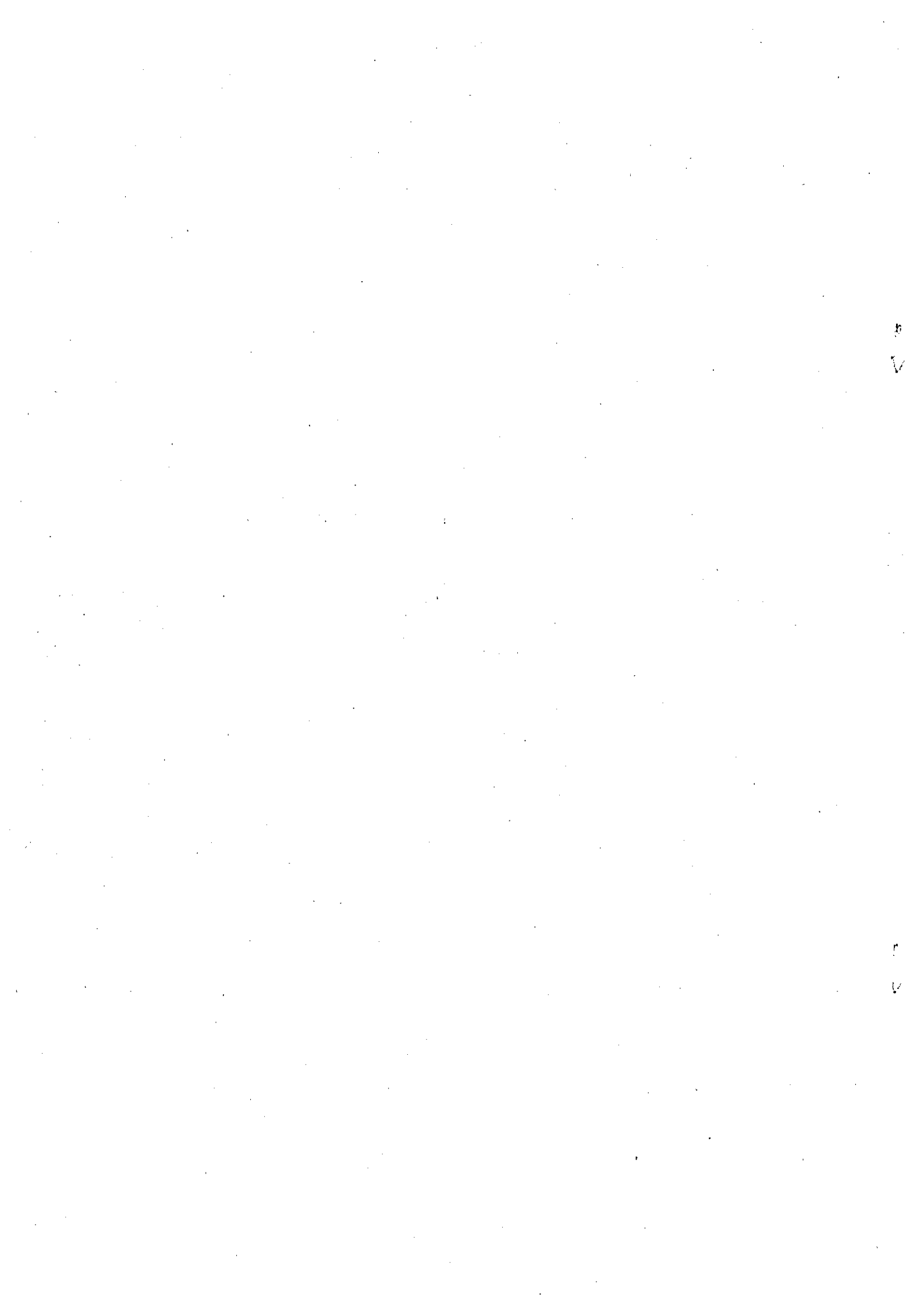
総務教育常任委員会資料

(平成27年6月8日)

〔件名〕

- ・「イクボスとっとり共同宣言」署名式の実施について
【人事企画課】・・・1
- ・第1回県民目線の県政改革断行チーム会議の開催について
【業務効率推進課】・・・2
- ・平成27年度事業棚卸し ～県民視点での点検～ の実施について
【業務効率推進課】・・・3
- ・鳥取県・岡山県共同アンテナショップ「とっとり・おかやま新橋館」
の運営状況について
【東京本部】・・・4
- ・関西圏における鳥取県産品（らっきょう、すいか）のPRについて
【関西本部】・・・5
- ・マグロの初水揚げに合わせた関西でのPRについて
【関西本部】・・・6
- ・関西における県内事業者の販路開拓支援について
【関西本部】・・・7
- ・名古屋における情報発信等について
【名古屋代表部】・・・8

総 務 部



「イクボスとっとり共同宣言」署名式の実施について

平成27年6月8日
男女共同参画推進課
人事企画課
子育て応援課

部下の仕事と家庭の両立を応援し、自らもワーク・ライフ・バランスを実践する働き方改革を進めるため、全国で初めて、経済団体、労働団体、行政のトップが一堂に会してイクボス宣言を行いました。

今後イクボスの取組を県内に広げていきます。

1 署名式の開催

- (1) 日時 平成27年6月3日(水) 11時45分から12時15分まで
(2) 場所 知事公邸第1応接室
(3) 参加者
- | | |
|------|--|
| 経済団体 | 鳥取県商工会議所連合会長 藤縄 匡伸
鳥取県経営者協会会長 宮崎 正彦
鳥取県中小企業団体中央会長 谷口 譲二
鳥取県商工会連合会長 井木 久博 |
| 労働団体 | 日本労働組合総連合鳥取県連合会長 五十嵐 美知義
※五十嵐会長は、署名式当日は欠席のため後日署名。 |
| 行政 | 鳥取労働局長 河野 純伴
航空自衛隊美保基地司令代理第3輸送航空隊人事部長 半 克行
米子駐屯地司令 小見 明之
鳥取県知事 平井 伸治
鳥取県教育委員会教育長 山本 仁志
鳥取県警察本部長 山岸 一生 |

イクボスとっとり共同宣言

私は、長時間労働の削減、柔軟な働き方の推進などの働き方改革を通じて、部下の仕事と家庭の両立を応援する「イクボス」となります。

また、自らも鳥取の豊かな自然に親しみ、家族や地域を大切にするワーク・ライフ・バランスの実践者として、人生を思いっきり楽しみます。

県内各地の企業や団体に「イクボス」を増やし、その取組を広げ、男女がともに働きやすい鳥取県を目指し、全力で取り組みます。

2 今後の取組

- (1) 民間企業に向けた取組
- ・ 輝く女性活躍加速化とっとり会議において、イクボス研修等により県内企業のトップにイクボスの浸透を図る。
 - ・ 企業への奨励金等を通して、引き続き男性の育児休業や育児参加休暇の取得を推進する。
- (2) 県庁における取組
- ・ 管理職全員へのイクボス宣言の呼びかけ
 - ・ イクボス研修の実施
 - ・ 育児応援チェックリストの作成
職員各自が上司として又は同僚としての育児応援ぶりを自己診断。意識啓発を図る。
 - ・ 育休プランニングシートによる面談・助言
所属長が出生予定のある職員と育休取得予定等が記載されたシートをもとに話し合い、仕事や育児支援制度の利用等について助言
 - ・ イクボスの積極的な取組の人事評価への反映(加点要素)及び表彰を検討

第1回県民目線の県政改革断行チーム会議の開催について

平成27年6月8日

行財政改革局業務効率推進課

鳥取の元気づくり推進のエンジンとなる「とっとり元気づくり推進本部」において、部局横断で重点的に取り組むために設置した10のプロジェクトチームのうち「県民目線の県政改革断行チーム」の第1回目のチーム会議を次のとおり開催しました。

- 1 日時 平成27年5月21日(木) 午後1時～1時50分
- 2 場所 県庁第3応接室(本庁舎3階)
- 3 出席者 副知事(チーム長)、未来づくり推進局長、総務部長、行財政改革局長、地域振興部長、中部総合事務所地域振興局長、西部総合事務所地域振興局副局長、教育委員会事務局次長 等
- 4 概要 県民目線の県政改革を推進するため、市町村・県民との連携・協働と、元気な職場づくりに向けた県庁改革に向けた取組方針についての意見交換を行い、具体的な取組目標・内容・スケジュールを再点検し、引き続き積極的に進めていくことを申し合わせた。

(1) 取組方針等

ア 連携協働ワーキング(メンバー:地域振興部(事務局)、未来づくり推進局、総務部、総合事務所)

市町村との行政の枠を超えた連携や、NPOなど民間団体との協働の推進

①各圏域の地域性を活かした事務の共同処理の推進

【東部】鳥取市の中核市移行・連携中枢都市圏形成による東部圏域全体の効率的・効果的な業務の推進

【中部】広域連合等の枠組の活用及び個別の市町の柔軟な「連携・連帯」による事務の集約化・共同化の推進

【西部】西部圏域の新たな広域連携の推進。日野地区の県・町の連携の更なる活性化

②県・市町村の新たな連携による情報システム共同化等の推進

・鳥取県自治体ICT共同化推進協議会を設立し、クラウド技術を活用した情報システムの共同化によるコスト削減、業務の効率化、情報セキュリティに係る脅威への適切な対策、ICT分野の人材育成等の具体的な取組を推進

③市町村や民間団体等による地方創生の取組の推進

・総合戦略に基づく地方創生の取組の推進支援(官民一体となった取組の推進)

イ 県庁改革ワーキング(メンバー:行財政改革局(事務局)、各部局、総合事務所、教育委員会事務局)

学校現場を含めたカイゼンと庁風改革により、職員の意識改革と率先行動を進めて、地方創生の取組を支える元気な職場・元気な県庁をつくる。

①カイゼンを続ける職場づくり

・「職員一人いちカイゼン運動」を展開して全員参加による仕事の効率化を推進

・教職員の時間的・精神的ゆとりを生み出すカイゼンを実践し、子ども達に向き合う時間等を増やす

②職員が生き生きとする職場づくり

・互いの仕事の価値・役割を尊重する認め合いの推進(認め合いマスター「認マス(みとめまわ)」の養成)

・多様な働き方によるワークライフマネジメントの推進と女性の活躍支援(男性の育休取得推進等)

・風通しのよい職場風土の醸成(あいさつ、社会貢献活動、スポーツ等を通じたコミュニケーション向上)

③快適で安全・安心な職場づくり(職域委員会の活性化、快適な職場環境づくり運動、公用車事故ゼロ運動)

(2) 今後のスケジュール

今後、ワーキング単位で取組方針を具体化した取組を展開し、その取組状況の確認や施策内容等について議論するため、年度内に2回程度、チーム会議を開催する予定。

平成27年度事業棚卸し ～県民視点での点検～ の実施について

平成27年6月8日
行財政改革局業務効率推進課

公開の場で、外部の視点により事業を点検し、予算の編成作業に活用することを目的として実施する「事業棚卸し」の本年度の実施概要について、次のとおり報告します。

1 実施体制

- (1) コーディネーター1名と評価者7名による8名体制で実施。
- (2) 県民視点の事業点検を県政に反映するため、評価者7名のうち5名を公募による県民委員で構成。

区 分	氏 名	所 属 ・ 職
コーディネーター	ほそ い よし ひこ 細 井 由 彦	鳥取大学 理事 (企画・評価担当、広報担当)・副学長
評 有識者	お の たつ や 小 野 達 也	鳥取大学 地域学部地域政策学科 教授
	かわ ぐち りゅみこ 川 口 有美子	公立鳥取環境大学 環境学部環境学科 准教授
価 県民委員	かた やま ゆう き 片 山 悠 綺	公募 (大学生)
	きの し た まさと 木 下 仁 人	公募
	くわ もと たま え 桑 本 玉 枝	公募
	しま た おさむ 嶋 田 治	公募
	し みづ はるみ 清 水 はるみ	公募

2 評価実施日 8月29日(土)及び30日(日)(インターネットによる同時配信予定)

3 評価の実施方法(予定)

(1) 評価対象事業：8事業程度

以下の①から③までの事業を除くすべての事業の中から、評価者会議において選定を行う。

- ①平成27年度の新規事業
- ②予算額(トータルコスト)が100万円未満の事業
- ③他の方法で外部の評価を受けている事業(公共事業等)

(2) 評価検討時間：1事業あたり最大100分程度(棚卸し当日70分+事前調査等)

(3) 評価の視点：事業の必要性、実施方法が効果的であるか、最適な実施主体はどこかといった観点で事業を点検するとともに、事業の要・不要の判断にとどまらず、事業の見直しや改善の方向性を含めた議論を行う。

4 スケジュール

- 第1回評価者会議：6月2日 … 評価の実施方法等の確認・意見交換
第2回評価者会議：7月上旬 … 評価対象事業の選定
第3回評価者会議：8月上旬 … 評価対象事業の事前調査(事業所管課による事業内容の説明)

5 参考(昨年度の実施結果)

評価実施日：平成26年8月30日(土)及び31日(日)

実施結果：8事業(まんが王国発ソフトパワー事業、とっとり支え愛の取組関連2事業、Let's 4R 実践拡大事業、移住定住促進への取組関連3事業、広聴実施事業)を対象に実施し、全ての事業が「改善継続」の評価。

鳥取県・岡山県共同アンテナショップ「とっとり・おかやま新橋館」の運営状況について

平成27年6月8日
東京本部
販路拡大・輸出促進課

昨年9月28日にオープンした鳥取県・岡山県共同アンテナショップ「とっとり・おかやま新橋館」の運営状況について報告します。

1 「とっとり・おかやま新橋館」の概要

- (1) 設置場所 新橋センタープレイス1階・2階（東京都港区新橋一丁目11番7号）
- (2) 面積 941.35㎡（1階354.01㎡、2階587.34㎡）
- (3) 主な機能
 - ア 物販店舗：加工食品、非食品、生鮮品等の県産品の展示・紹介及び販売
 - イ 飲食店舗：地酒や県産食材・食品等で作った軽飲食物の提供
 - ウ 観光・移住コーナー：観光や移住等に関する説明・案内や情報提供、相談対応等の実施
 - エ 催事スペース：市町村や事業者、関係団体等による物産の製作実演や試食販売、芸能の公演、観光や移住に関するイベント等の開催
 - オ ビジネスセンター：県内企業等の首都圏における情報収集や販路開拓などの活動拠点の提供

2 平成26年度「とっとり・おかやま新橋館」運営状況（H26.9.28～H27.3.31）

- (1) 開館日数：181日
- (2) 入館者数：279,157人（1日平均1,542人）
- (3) 売上額：物販店舗130,852千円、飲食店舗45,964千円、計176,816千円
- (4) 催事スペース等利用状況：1Fプロモーションゾーン62件（うち鳥取県関連41件）
2F催事スペース77件（うち鳥取県関連37件）
- (5) 観光・移住コーナーでの相談状況：観光相談256件、移住相談27件、計283件
- (6) 売れ筋商品：生干しほたるいか、ブドーパン、三朝神倉納豆「神のつぶ」、とうふ竹輪 等

3 効果

- (1) 情報発信について
 - ・岡山県と共同で組むことで話題性が高まり、半年間で、テレビ21件、ラジオ4件、新聞7件、フリーペーパー5件、雑誌18件、インターネット2件などに取り上げられた。
 - ・ピンクカレーやピンク醤油、三朝ミスト、大山ブロッコリーなど、テレビで取り上げられることで話題となり、ショップを代表する人気商品になった。

(2) 催事スペース等活用の効果

催事を実施するにあたり十分な広さを確保したため、県内事業者が期待する販促・PR活動が実施できた。

〈出展事業者の声〉

- ・商品の評価を聞くことができ、今後の販売方法、展開場所に反映していきたい。
- ・お客様の評価が聞け、知名度向上の場として有効だったので、また活用したい。
- ・立地条件がよく、多くのお客様にPRができた。

(3) 岡山県との連携

両県商工会連合会共同物産展や鳥取の柿と梨・岡山のぶどうの食べ比べイベント、鳥取・岡山広域観光協議会による物産展を実施するなど、岡山県との連携が強まった。

関西圏における鳥取県産品（らっきょう、すいか）のPRについて

平成27年6月8日
関西本部

関西本部では、JA全農とっとり及び青果卸売企業等と連携して、関西圏で旬の「らっきょう・すいか」の販売を促進するため、以下のとおり百貨店・量販店でのPR・試食宣伝販売や食育の取組等を実施しています。

1 らっきょうのPR

(1) 百貨店・量販店での取組

ア あべのハルクス近鉄本店での取組（新規）

日時 5月30日（土）～31日（日）
場所 あべのハルクス近鉄本店B2街ステーション（大阪府大阪市阿倍野区内）
内容 らっきょうの試食宣伝販売、らっきょうの漬け方・お手軽クッキング教室

イ ピーコックストアでの取組（新規）

日時 6月6日（土）
場所 ピーコックストア千里中央店B1特設会場（大阪府豊中市内）
内容 らっきょう産地の紹介、らっきょうの漬け方講習会

2 すいかのPR

(1) 平成27年度鳥取すいかセレモニー

日時 6月13日（土）
場所 大阪市中央卸売市場本場（大阪府大阪市福島区内）
内容 主催者あいさつ、来賓代表あいさつ（鳥取県（副知事出席）、卸売企業、仲卸組合）、わかとりメイツ紹介、試食会等
主催 JA全農とっとり

(2) 百貨店・量販店での取組

ア 関西スーパーでの取組

日時 6月27日（土）～28日（日）
場所 関西スーパー65店舗
内容 クロマグロ、鮮魚、水産加工品、すいか及び白ねぎ等の試食宣伝販売

イ 大丸京都店での取組（新規）

日時 7月3日（金）～4日（土）
場所 大丸京都店B1青果売場（京都府京都市下京区内）
内容 すいかの試食宣伝販売
※「鳥取フェア」（7月1日～7日、県内7事業者出展予定）開催中に実施

ウ イオンモール伊丹昆陽での取組（市場開拓局）

日時 7月3日（金）～5日（日）
場所 イオンモール伊丹昆陽イオン直営店内（兵庫県伊丹市内）
内容 すいか、ねばりっこ、クロマグロ、鮮魚、農林水産加工品の試食宣伝販売、観光PR等

(3) 特徴ある取組

ア テレビ番組での取組

日時 6月25日（木）
内容 毎日放送「ちちんぷいぷい」での鳥取すいかのPRと視聴者プレゼント

イ 「通天閣」での取組

日時 6月20日頃
場所 通天閣（大阪府大阪市浪速区内）
内容 ビリケンさんへの鳥取すいかの奉納と来場者へすいかグッズのプレゼント

3 食育の取組

6月上旬から中旬にかけて、小学校や幼稚園保護者を対象にした「らっきょう」や「すいか」の食育を実施。

マグロの初水揚げに合わせた関西でのPRについて

平成27年6月8日

関西本部

関西本部では、境港天然本マグロPR推進協議会と連携して、関西圏における境港産天然クロマグロの販売を促進するため、初めて下記のとおり初水揚げの日に、百貨店の協力を得て試食宣伝販売を初開催しました。

記

1 日 時 5月29日(金)午後2時から5時30分まで(2店舗同時開催)

2 場 所

- (1) あべのハルカス近鉄本店タワー館地下2階 鮮魚売場(大阪市阿倍野区内)
- (2) 阪神百貨店梅田本店阪神食品館地下1階 鮮魚売場(大阪市北区内)

3 内 容

- (1) 境港産天然クロマグロの試食宣伝販売
- (2) 解体ショー(あべのハルカス近鉄本店鮮魚売場のみ)

4 今後の予定

(1) 量販店でのPR

日 時 6月27日(土)～28日(日)

場 所 関西スーパー65店舗

内 容 クロマグロ、鮮魚、水産加工品、すいか及び白ねぎ等の試食宣伝販売

(2) テレビ番組でのPR

日 時 7月2日(木)

内 容 毎日放送「ちちんぷいぷい」でのクロマグロのPRと視聴者プレゼント

<参考>過去5年の水揚げ量、全国順位、初水揚げ日の概要。

年	H22	H23	H24	H25	H26
水揚げ量(トン)	702	1,381	601	1,256	1,569(暫定)
全国順位	1	1	1	1	-
初水揚げ日	6/1	5/29	6/2	6/6	6/2

※農林水産省HP「水産物流通統計年報」を参照

関西における県内事業者の販路開拓支援について

平成27年6月8日

関西本部

関西本部では、関西圏での販路開拓を目指す県内事業者の営業力及び商品力の向上を目的とした支援を、昨年度に引き続き、定期展示商談会の開催前に実施しています。

1 営業実践研修の実施結果

- (1) 日時 5月25日(月)午後0時45分から午後4時30分まで
- (2) 参加者 県内事業者16社20名(うち初参加12社17名)、県内支援機関3機関4名
- (3) テーマ ~関西での営業において
「まずは食べてもらえばわかります」だけでは通用しません~
- (4) 講師 木本フードオフィス代表 フードプロデューサー 木本喜士氏
鳥取県関西本部販路開拓コーディネーター 井賀博昭
- (5) 実施内容
 - ア 関西での営業のポイントを学ぼう(講義)
 - イ 商品提案書の書き方を学ぼう(講義)
 - ウ 模擬営業(実践)
 - 持参した商品提案書を書き直し、グループに分かれて、販路開拓コーディネーターによるアドバイス等
 - グループ代表者が講師(関西パイヤー)に対して模擬営業し、講師が講評
- (6) 参加者の主な意見及び今後の課題
 - ア これまで提案書の書き方を学ぶ機会がなかったので、今回、提案書の重要性が理解できた。
 - イ 提案書の記入方法の個別指導は大変勉強になった。早速、提案書を作り直したい。
 - ウ 意見交換や模擬営業を通じて、商談方法や商品のアピール点がよくわかり、アピール方法に幅ができた。
 - エ 商品提案書の記載内容や模擬営業での営業力において、参加者間で経験不足による差が見られたため、今後の研修内容や販路開拓コーディネーターによる同行営業の支援方法に工夫が必要である。

<実施状況>



営業ポイントの講義



講師による個別の助言



模擬営業

2 平成27年度第1回商品クリニックの開催計画

- (1) 日時 6月19日(金)午後0時45分から午後5時まで
- (2) 開催場所 鳥取県西部総合事務所会議室
- (3) 対象者 関西で販路開拓を目指す県内事業者(ただし、関西に営業部門を持たない者に限る。) 定員24事業者
- (4) 対象商品 新規開発中又は改良意向のある加工食品等
- (5) 実施内容
 - ア 「機能性表示食品制度」を商品PRに活用しよう(講義)
講師:鳥取県福祉保健部健康政策課職員、(地独)鳥取県産業技術センター職員
 - イ 4分野別(商品卸(小売)、百貨店・スーパー、外食産業、商品開発)の関西パイヤー等による個別クリニックを実施

※(地独)鳥取県産業技術センター食品開発研究所の施設見学をオプション企画として、当日午前に実施。

3 今後のスケジュール(予定)

- | | |
|-------------|-------------------|
| 平成27年 7月 下旬 | 商談会(会場:関西本部) |
| 平成27年11月 | 第2回商品クリニック(会場:県内) |
| 平成28年 2月 | 商談会(会場:関西本部) |

名古屋における情報発信等について

平成27年6月8日
名古屋代表部

1 観光イベント等での鳥取県の発信

(1) 各務原イオンでの鳥取県PR

東海地方でも有数の規模を誇り多くの買い物客でにぎわう岐阜県のイオンモール各務原センターコートで、日本遺産に認定された三徳山・三朝温泉や砂の美術館など広く鳥取県の観光をPRしました。

- ① 日程等：5月24日（日） イオンモール各務原（岐阜県各務原市）
- ② 主催：鳥取県観光連盟、鳥取県名古屋代表部、鳥取市
- ③ 内容：トリピー・ミササドンと観光大使によるPR、砂像づくり体験、観光資料の配布等を行いました。砂絵作成コーナーでは終日行列ができるなど魅力発信につながりました。



(2) 「砂丘らっきょうの漬け方講習会」の開催

出荷の最盛期を迎えた「砂丘らっきょう」の消費拡大につなげるため、JA鳥取いなばの生産者を講師に迎え、「砂丘らっきょうの漬け方講習会」を開催しました。

- ① 日程等：6月2日（火）名古屋市 東生涯学習センター（名古屋市東区）
- ② 主催：鳥取県名古屋代表部、JA鳥取いなば
- ③ 参加者：26名（応募者447人）
- ④ 内容：砂丘らっきょうの漬け方に加え、生育の状況や産地の様子など「砂丘らっきょう」の魅力も紹介しました。また、抽選に漏れた方からも、「砂丘らっきょう」の漬け方レシピの希望や取り寄せの問い合わせが多く寄せられるなど情報発信につながりました。



(3) 第1回「四国・山陽・山陰の物産と観光展」での物産販売及び鳥取県PR

中四国10県による物産・観光展に県内事業者が出展するとともに、鳥取県の観光PRを行いました。

- ① 日程等：6月3日（水）～8日（月）
松坂屋名古屋店 本館7階大催事場（名古屋市中区）
※7日（日）には観光大使などによる観光PRを実施
- ② 主催：中四国10県、各県物産協会
- ③ 参加事業者（全体では約80社出展）
＜食品関係：6社＞
品目：打吹公園だんご、吾左衛門鮓、大山ハム など
＜民工関係3社＞
品目：シルクニット、願字玉、竹製品
- ④ 内容：鳥取県が初めて参加した物産展で、初日から多くのお客様で賑わっていました。また、観光PRも行うことで鳥取県の魅力発信につながりました。



(4) 鳥取県ゆかりの若者との情報交換会の開催

鳥取県にゆかりがあり、現在中京圏で活躍する若者と県とのネットワークの構築や、若者の力による鳥取県の地域活性化への取り組みなどにつなげるための情報交換会を開催しました。

- ① 日程等：5月15日(金) ルーセントタワー内(名古屋市西区)
- ② 参加者：機械メーカー、マスコミ、生命保険会社などに勤務している20代～40代の方々10名
- ③ 内容：中京圏でのビジネスの現状、県の情報発信の取り組みに関する意見など幅広く情報交換を行いました。

参加者からは、「鳥取県とゆかりのある人たちで鳥取のことを語れる会があり嬉しい」、「鳥取県の出身者同士のネットワークの構築につながるし、参加できなかったメンバーと出会えることを期待している。」といった意見が寄せられました。

今後もネットワークを広げながら定期的を開催し、鳥取県の活性化や情報発信の取り組みに反映させて行きます。



2 今後の情報発信の予定

(1) 第3回夏山フェスタでのPR

- ① 日程等：6月20日(土)、21日(日)
- ② 場所：愛知県産業労働センター(ウインクあいち)(名古屋市中村区)
- ③ 参加者：鳥取県観光連盟、鳥取県名古屋代表部、大山町、三朝町、若桜町
- ④ 内容：名古屋で唯一の山岳関連総合イベントで登山用品メーカー、自治体、山小屋など87のブースが出展予定です。本県からは初めての参加となり大山、三徳山、氷ノ山の紹介や鳥取県の観光PRを行います。

(2) マスコミ媒体での鳥取県PR(7月2日号)

- ① 掲載誌：中日ショッパー(発行：中日新聞社 中日新聞折り込み配布)
- ② 掲載号：7月2日(木)発行号(全8段カラー 69万部世帯配布)
- ③ 掲載内容：日本遺産に認定された三徳山・三朝温泉を中心に中部の食(牛骨ラーメンなど)を紹介します。

